



## 湾岸・アラビア半島地域ニュース

UAE : GCC 経済・インフレ

(4月2日付ハリージ・タイムズ紙)

GCC 諸国のインフレに関してモーシン・S・カーン IMF 中東・中央アジア局長がエミレーツ戦略研究所の会議で発言した。

1. GCC 諸国における今年のインフレ率は 8% ( 昨年 は 7% )。家賃および食料品価格の上昇がその要因。
2. GCC 諸国のインフレはドル安によるものではないため、ドルペッグの解除や自国通貨の切り上げは、インフレの解決法とはならない。2 兆円もの資産が主としてドルにより海外で投資されており、仮に GCC 諸国が自国通貨を 20% 切り上げると、全体で 4000 億ドルもの資産価値減少をもたらす。
3. 湾岸諸国の経済成長は石油収入の増加と非石油部門の成長によるものである。非石油部門の実質成長率はインドと同水準である。
4. GCC 諸国の他の中東諸国への直接投資は主に石油・天然ガス分野へのものであるが、エジプト、チュニジア、レバノンでの不動産部門においても投資がなされている。GCC 諸国の余剰金が直接投資として、非 GCC アラブ諸国に向けられ、これらの経済成長に直接の影響を与えている。